

当院を受診された患者さんへ

当院では、下記の研究に情報の提供のみを行う機関として、対象者の方の診療情報を提供します。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内で閲覧することができますのでお申し出ください。

この研究は、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の治験・臨床研究審査委員会で審査され、病院長の許可を得て実施しています。また、情報の提供については当院院長の許可を得ています。

研究課題名	移植腎の微小血管炎症と糸球体 C4d の関連についての病理形態学的研究
研究実施期間	2026 年 2 月 3 日 ～ 2030 年 3 月 31 日
対象となる方	2008 年 1 月 1 日～ 2025 年 12 月 31 日に、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院移植外科において、生体/献腎移植術を受けた方
研究責任者	所属：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 移植外科 氏名：岡田 学
研究の意義・目的	腎臓移植後、薬の進歩で腎臓の寿命は延びましたが、自身の免疫システムが移植腎を攻撃してしまう「慢性抗体関連型拒絶反応」が問題です。再移植が増える中、初回移植時より免疫が過敏な状態にあることが多く、特に血液型不適合やドナー抗体を持つ場合、移植腎の長期生着は不明です。また、拒絶反応には、腎臓の糸球体に「C4d」が見つかる場合と見つからない場合があります。私たちは、移植腎の機能が落ちてしまうリスクや生着期間を詳細に調査しています。この研究で、移植前のリスク評価や移植後の治療法改善を目指します。また、この所見を従来の顕微鏡による観察だけでなく、低真空走査電子顕微鏡という特殊な顕微鏡を用いることで、よりよく病変を観察し、早期診断に繋げることができる可能性があります。
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、統計学的に検討します。
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、個人を直ちに特定できるような情報とは切り離した状態で使用します。（年齢、体重、性別等の基本情報、腎移植術の情報、移植腎生検の病理組織等）

結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
診療情報提供不可のお申し出先、お問い合わせ先	施設名：医療法人衆済会 増子記念病院 担当者：腎臓内科 武田 朝美 住所：〒453-8566 愛知県名古屋市中村区竹橋町 35-28 電話：052-451-1307（代表）